

2017年 日本未来学会 年次大会

- ◆日時: 2017年12月16日(土)11時~17時(10:45より受付開始)
- ◆会場: 日本科学未来館 (7階 土星ルーム) <https://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>
- ◆参加費: 学会会員は参加無料(年会費として一般会員 3000円、理事 5000円)
一般参加は 3000円(会場で支払い受付)
- ◆申し込み方法(問い合わせ先):
氏名、所属、学会会員・非会員の区別を明記の上、以下に申し込んでください。
miraigakkai@ifeng.or.jp

◆プログラム予定

開会あいさつ: 和田雄志(日本未来学会事務局長) 11:00

◎セッション1 「現代社会におけるデジタルゲームの意味と可能性」 11:05-12:05

趣旨説明: 橘川幸夫(日本未来学会理事)

「ゲームの未来とく文明の遊戯史観」

中川大地(評論家・編集者)

「ゲームデザイン応用事例: 科学展示『アナグラのうた』『未来逆算思考』」

犬飼博士(遊物体アソビウム)

「触覚技術とゲーム」

竹内伸(「ショッカソン」発起人)

休憩(12:05-13:00)・・・ロビーで触覚デバイスを展示・体験

◎セッション2: トークライブ「ゲームの過去・現在・未来を語る」 13:00-14:30

(主な話題)

◇ゲーム40年の歴史の中で、一番重要だったこと

◇「ポケモンGO」の可能性と限界

◇ソーシャルゲームの功罪

◇ゲーム廃人はどこへ行く

◇軍事とゲームの危ない関係

◇AIとゲームの未来 など

登壇者: 浅野耕一郎(専門学校教員)

後藤将之(ライター・編集者)

高橋信之(出版プロデューサー)

中川大地(評論家・編集者)

平井太郎(多目的文筆業者) ほか

司会: 榎本統太(編集者)

コーヒーブレイク(14:30-14:45)

◎セッション3: 「人類とテクノロジー文明の未来」 14:45-16:45

講演者: 公文俊平(日本未来学会会長)

指定討論者

楠木孝昭(日本未来学会理事)

中川大地

モデレーター: 和田雄志

■問合せ先

(事務局和田) メール: yj.wada@ifeng.or.jp 携帯電話: 090-1690-4173